

eYACHO for Business 7 記者説明会

2025/07/24

株式会社MetaMoji

アジェンダ

① ご挨拶

② eYACHO for Business これまでの進化と導入企業の変遷

③ eYACHO for Business 7 開発コンセプト

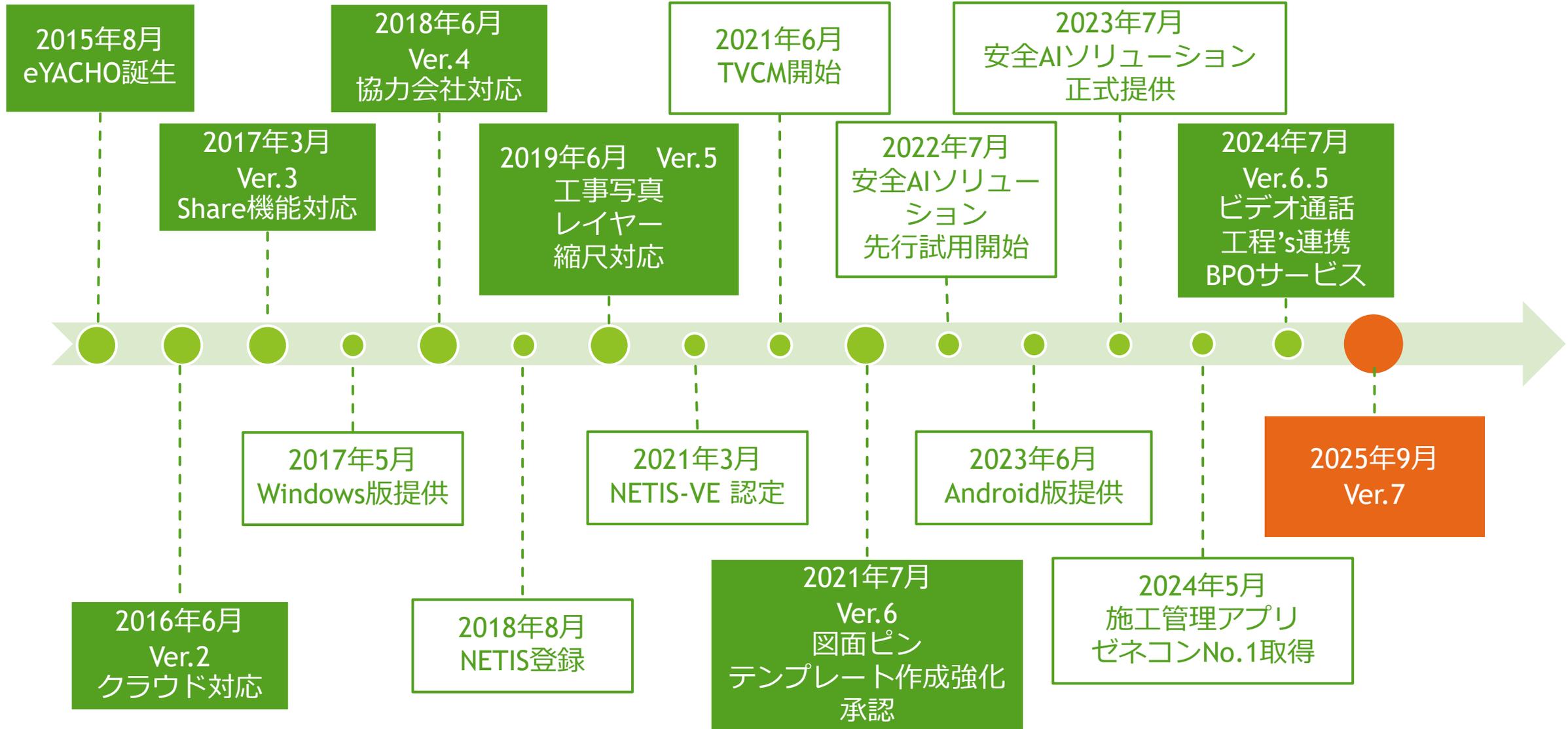
④ eYACHO for Business 7 機能紹介・デモ

⑤ 質疑

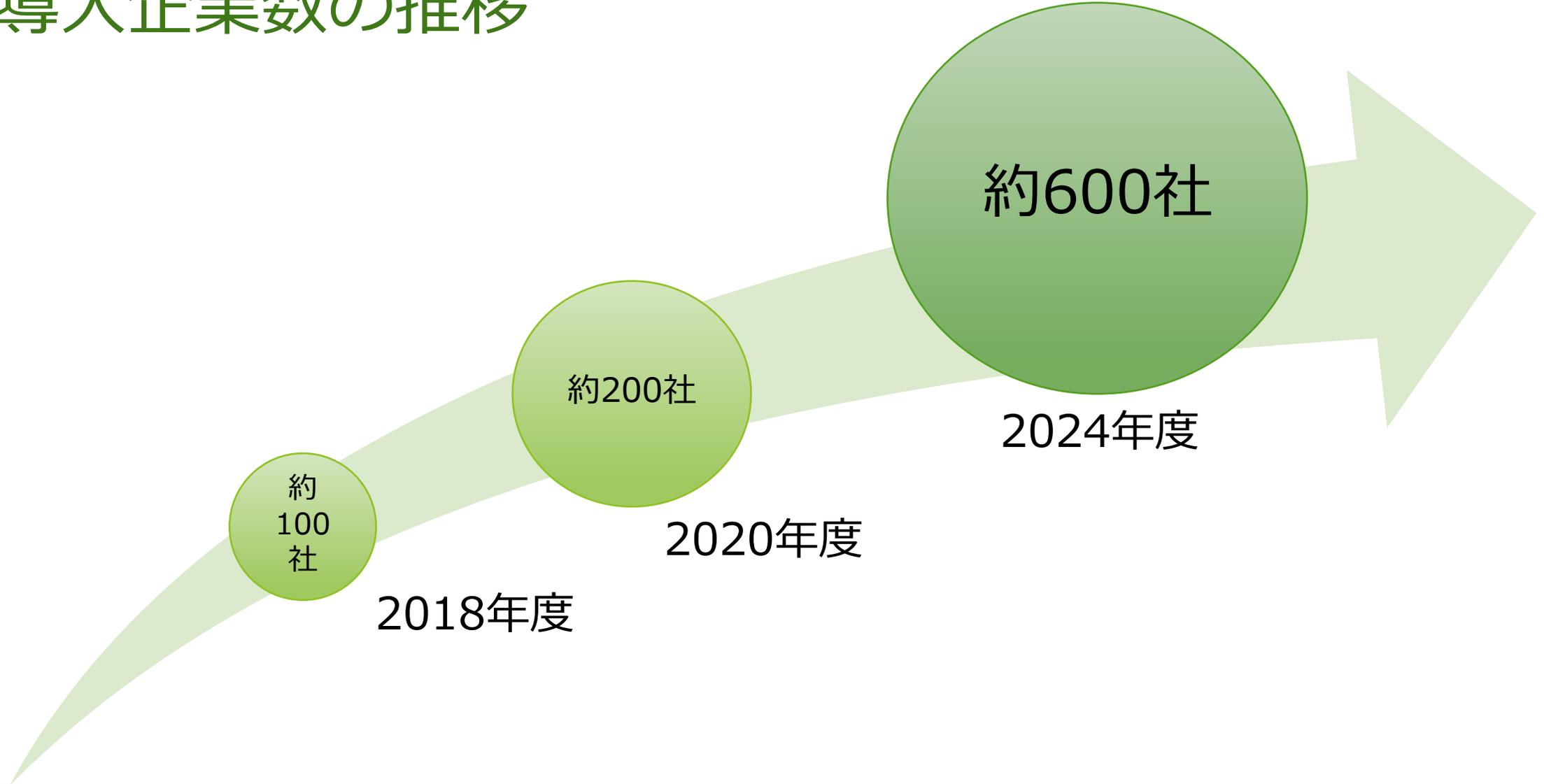


eYACHO for Business 7

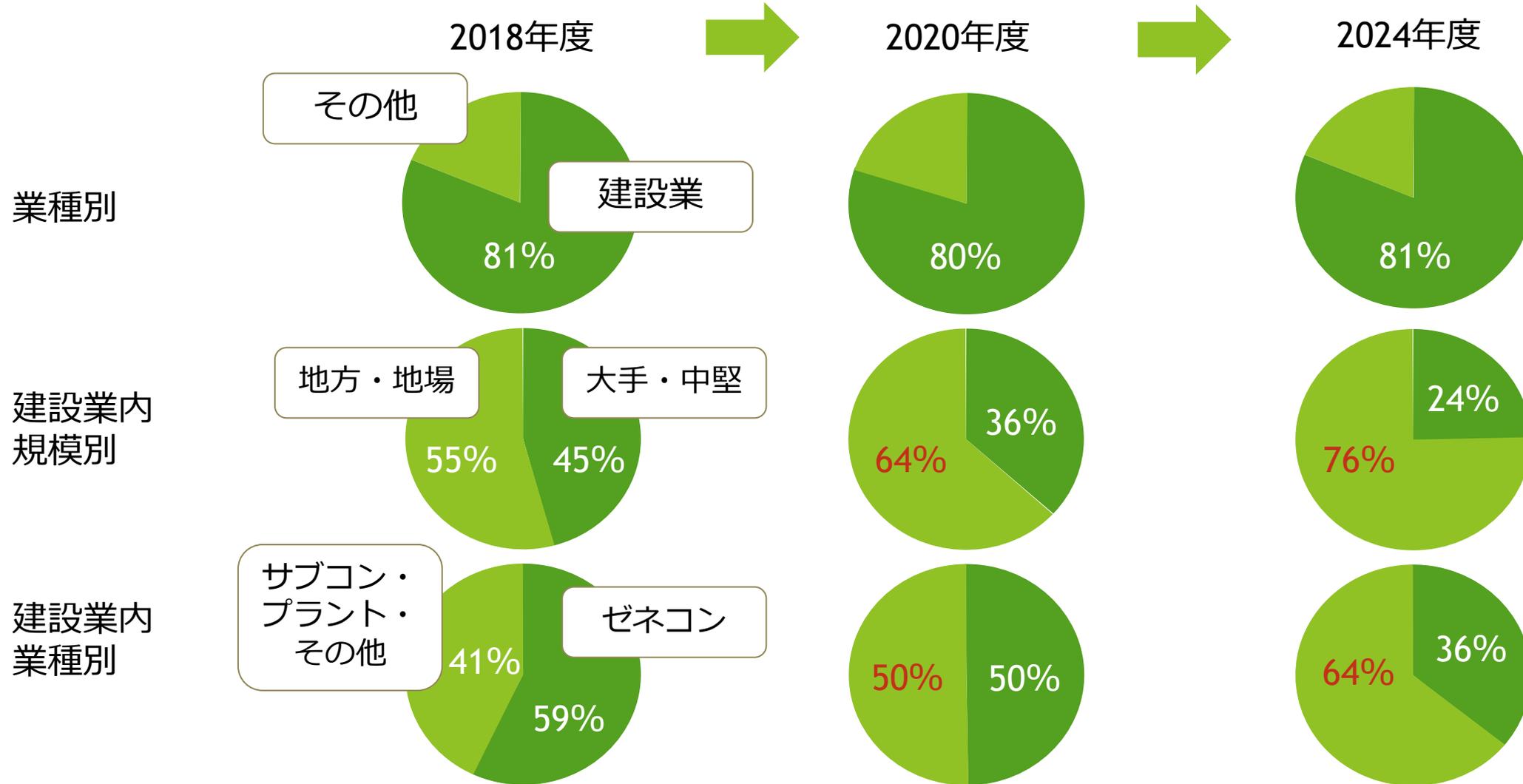
eYACHO 10周年 これまでの進化



導入企業数の推移



導入企業種別・割合の推移



広がる適用業務



紙のような手書き

リアルタイム書込共有

自由度の高い帳票作成

eYACHO for Business 7 開発コンセプト

これからDXを本格化する
お客様のために

地方・地場ゼネコン / サブコン様向けの機能強化

すでにご利用いただいている
大手・中堅のお客様のために

安定性・運用性の向上

新機能・主なアップデート機能

2025年9月時点

● 新機能

- 工事写真管理機能
- 計測機器（BLuE）連携機能
- AIヘルプ
- デジタルサイネージ連携

● 主なアップデート機能

- 安全AIソリューション：厚労省版と生成型を統合した公開データ版
- GEMBA Talk（ビデオ通話機能）：USBカメラ対応・Android対応
- レイヤー機能：レイヤーの表示・非表示 / アクティブレイヤー選択を一括で
- フォルダ管理・高速化：フォルダ管理者権限・チームのアーカイブ等

工事写真管理

- ▶ 工事写真の自動整理機能を搭載
- ▶ ノート内の工事写真を一覧表示
- ▶ 工事写真帳の簡単作成
- ▶ 工事写真を一括保存



計測機器 (BLuE) 連携

- ▶ 測定値をダイレクトに帳票に反映
- ▶ 入力の手間ゼロ、転記ミスゼロで検査報告が劇的に効率化



BLuE アプリ対応計測機器

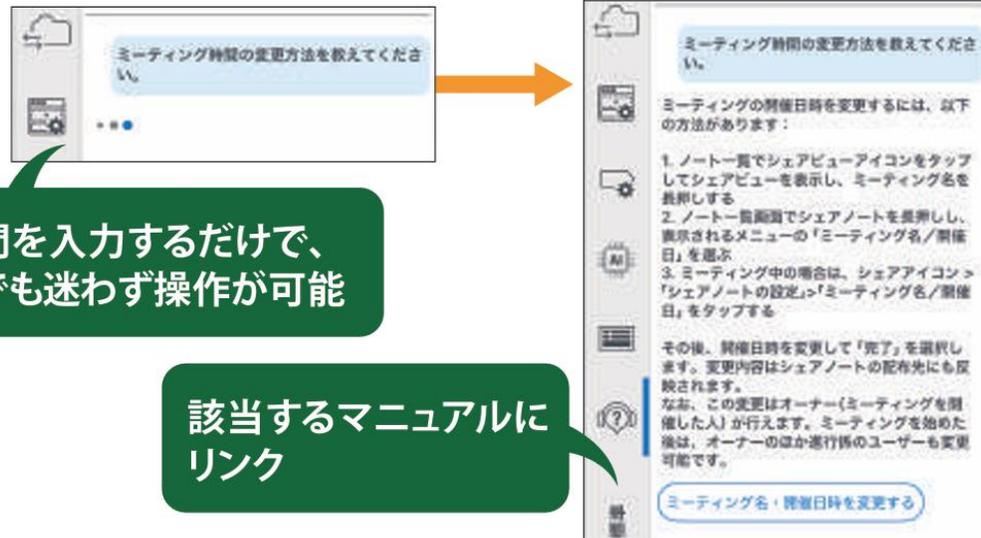
- 接地抵抗計
- クランプメータ
- デジタルマルチメータ
- 風速計
- 風速温度計
- コンセントテスタ
- 電力量計
- 温度計
- 温湿度計
- 騒音計
- 室内環境測定セット
- デジタルノギス
- デプスゲージ
- デジタルインジケータ 等



※スタンダード版以上でご利用いただけます。
 ※iOS版でご利用いただけます。
 ※対応バージョン: BLuE for iPad v1.9
 (2025年10月頃リリース予定)

AIヘルプ

- ▶ AIのナビゲートでやりたいことが即解決



質問を入力するだけで、誰でも迷わず操作が可能

該当するマニュアルにリンク

デジタルサイネージ連携

- ▶ 現場配置図・安全指示事項その他掲示必要な情報はeYACHOで作成、ワンボタンで適切なサイネージに連携・掲示できます。



- ※スタンダード版以上でご利用いただけます。
- ※サイネージ側に対応したREST API が実装されていることが必要です。
- ※eYACHO をインストール可能なOS 搭載のサイネージは本機能の対象外です。

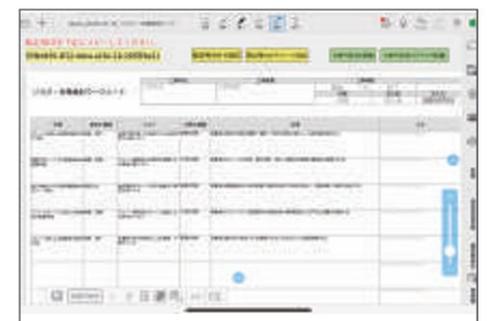
安全AIソリューション

- ▶ 生成型と厚生労働省の公開データ版が統合してバージョンアップ
- ▶ インタラクティブモード搭載により、リスクアセスメント実施時により深い検討が可能に
- ▶ ワークシート帳票を標準搭載。検討結果・補足資料として活用し安全衛生管理の強化が可能

●インタラクティブモード（自分で参考情報を選んで生成）



画像入力にも対応



eYACHO の帳票に転記

●自動モード（AI が参考情報を選んで生成）



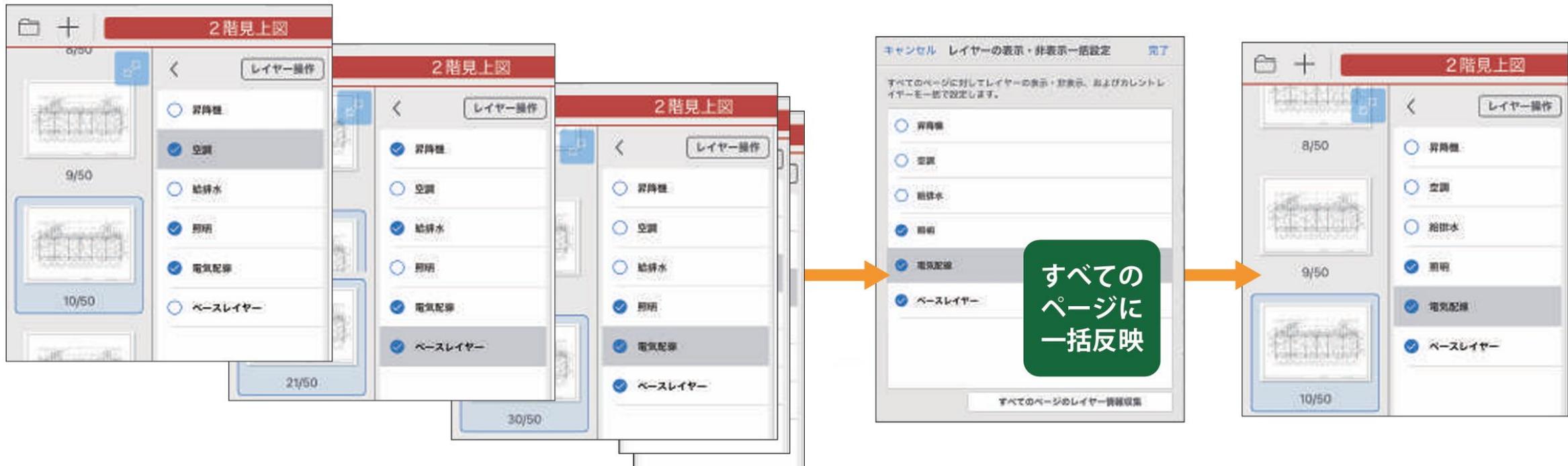
※スタンダード版以上でご利用いただけます。
 ※iOS/Windows 版でご利用いただけます。
 ※実運用には、別途サーバーライセンス、構築費用が必要です。

レイヤー一括操作

- ▶ 複数ページへのレイヤーの一括表示・非表示設定、一括選択が可能に
- ▶ 大量のページがあっても一気に完了



ベースレイヤー、機器取付レイヤー、機器取付済レイヤー、図面修正レイヤーなど、必要最小限のレイヤーを設定したテンプレートに、必要なレイヤーを追加して作成する。
(左)大きな現場の場合レイヤーは数十に及ぶ(右)必要なレイヤーだけを選択して表示できる



GEMBA Talk（ビデオ通話）

- ▶ Androidに対応。iPadを持たない協力会社の利用も可能に
- ▶ USBカメラの利用が可能に。配筋の奥などより細部を確認しながら遠隔での打合せが可能に



Android版でも
利用可能に



配筋の奥など、
より細部を確認しながら
遠隔での打合せも可能



※USBカメラ対応はiOS版のみ

フォルダ管理・高速化

- ▶ フォルダ管理の利便性が向上、運用負荷を軽減
- ▶ 同期対象を絞ることで使い始めの高速化を実現



フォルダ階層の
管理権限の拡張



チームのアーカイブに対応
今必要なチームのみ表示



ノートの削除禁止設定

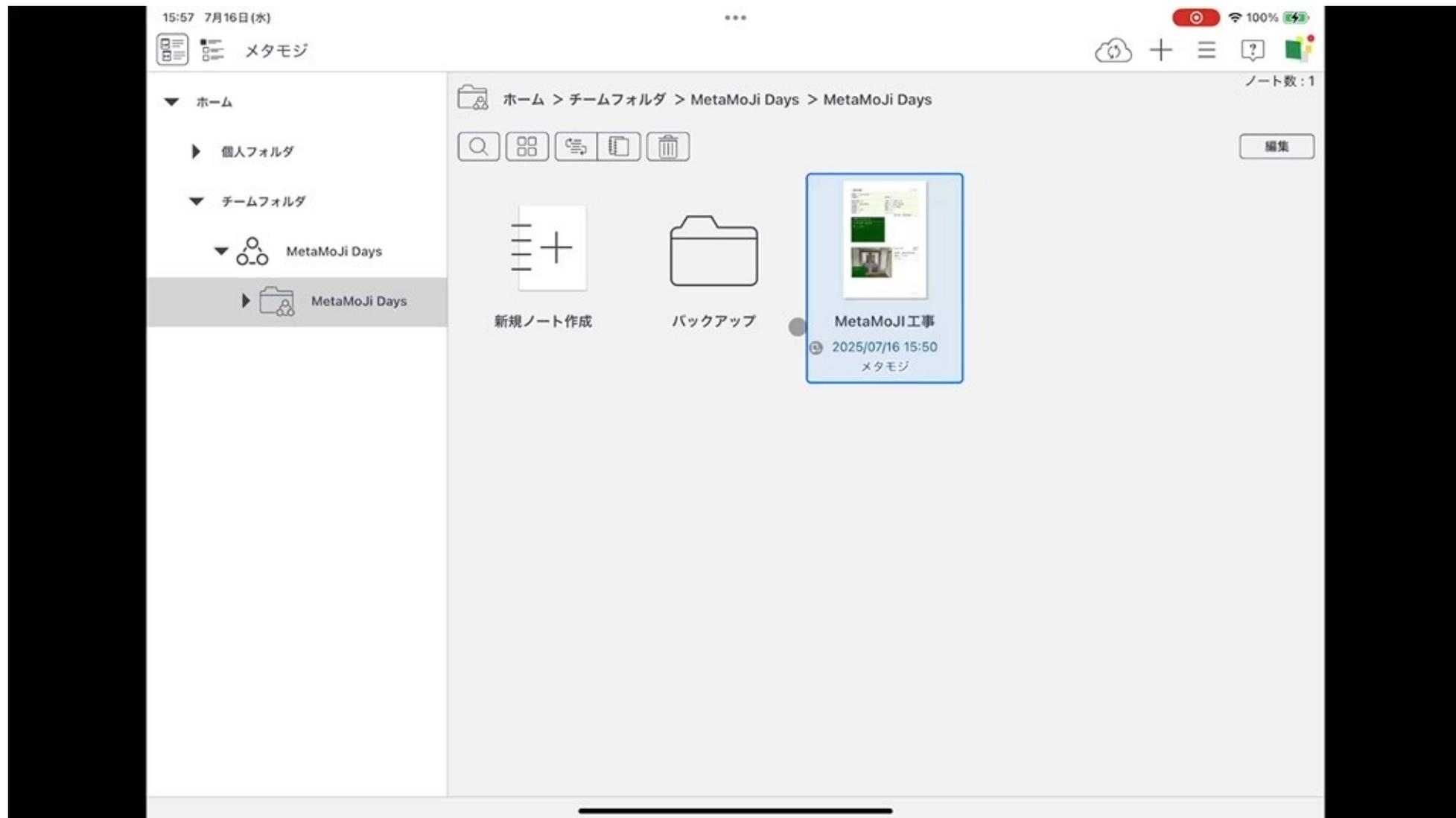


同期対象チームの設定

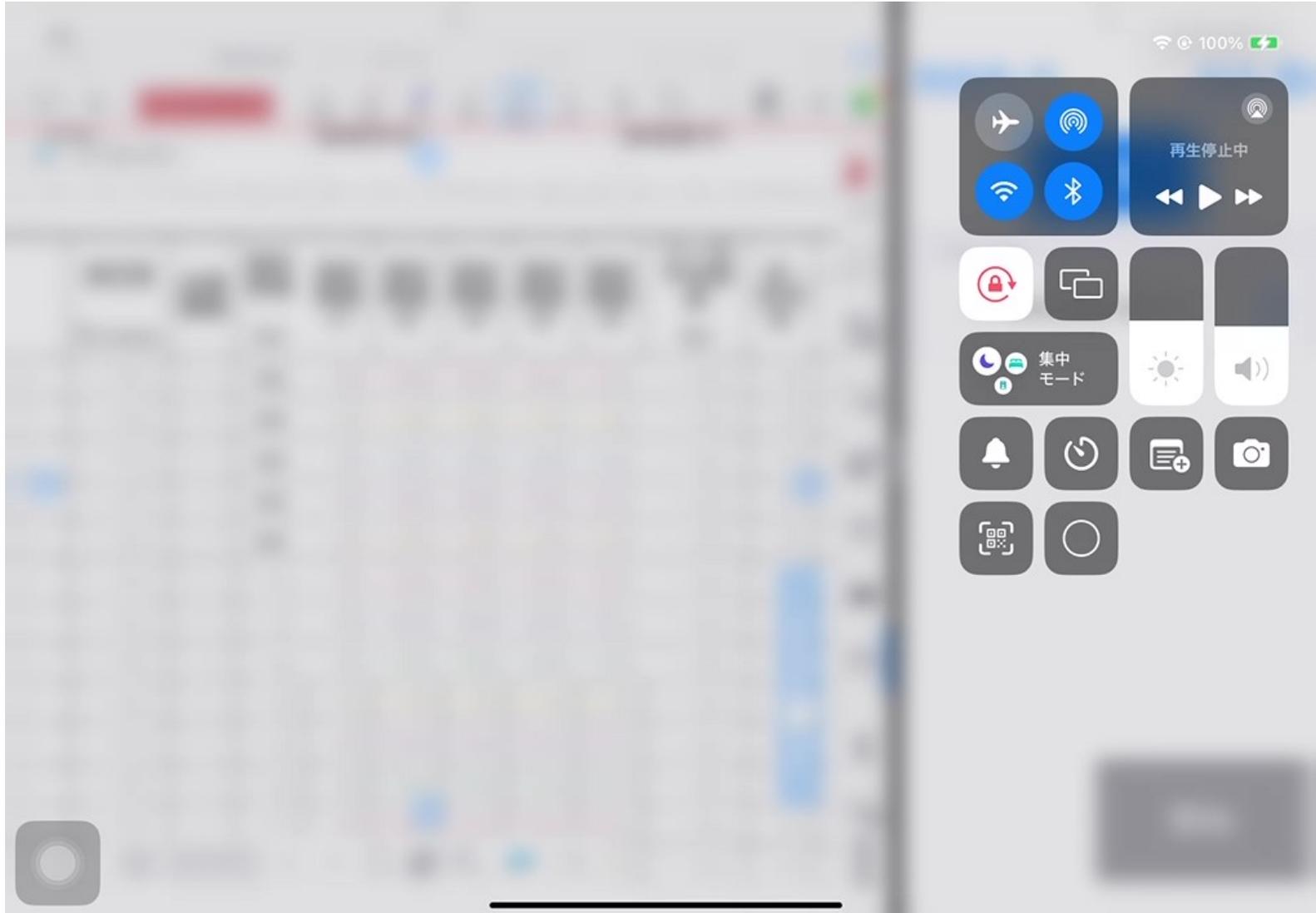
デモ

- ・ 工事写真管理
- ・ BLuE連携
- ・ AIヘルプ
- ・ サイネージ連携
- ・ 安全AIソリューション

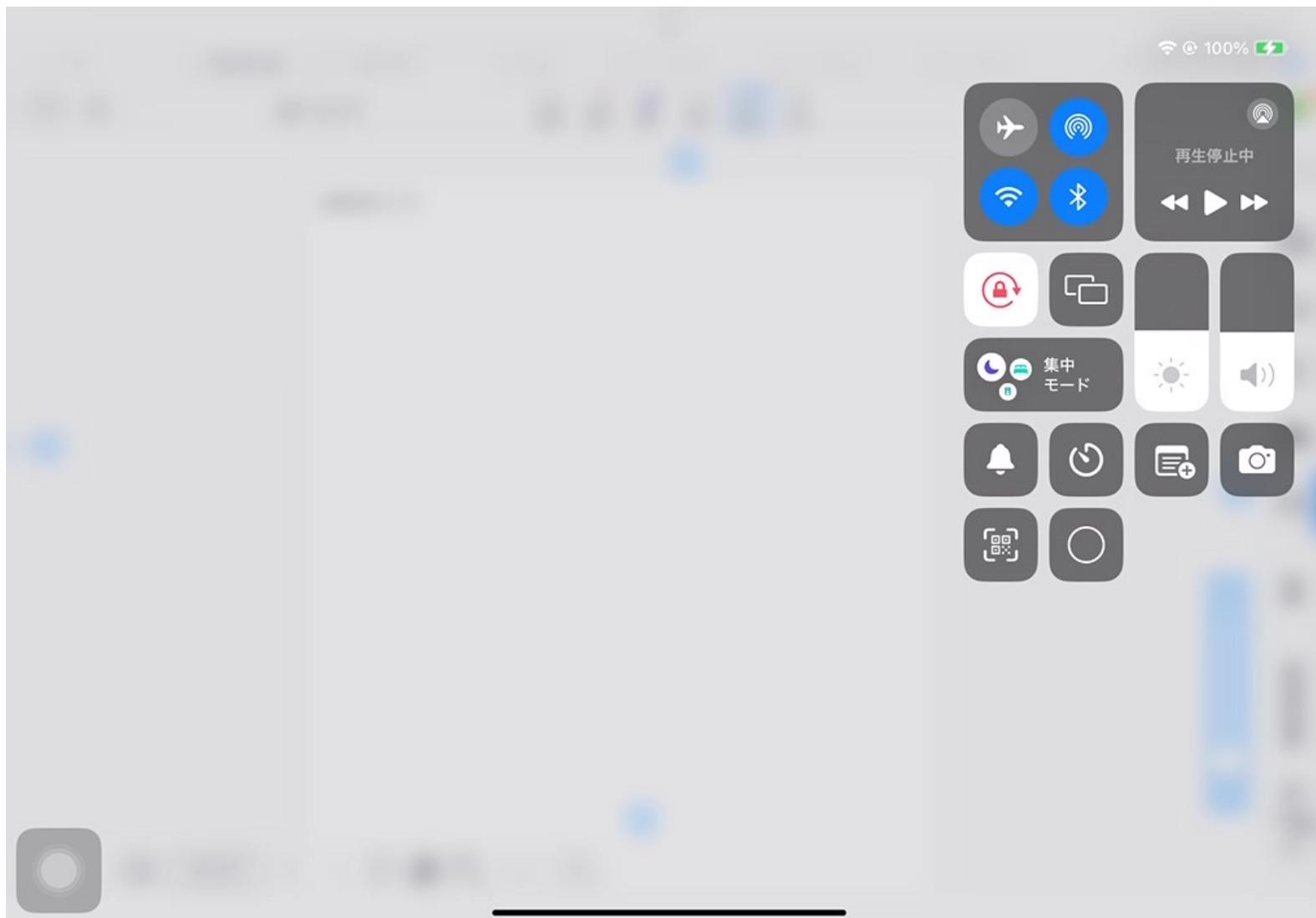
工事写真管理



BLuE連携



AIヘルプ



デジタルサイネージ連携



安全AIソリューション

安全向上に向けた課題認識

現場努力の限界

作業時の対策は最後の砦。環境、設備、計画等に由来するリスク低減が重要。

若手の知識・経験不足

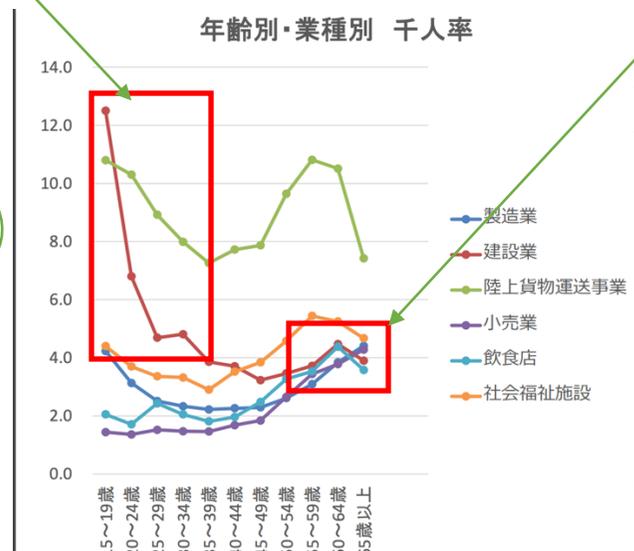
若年層の確保は急務だが、その安全管理や技術伝承は容易でない。

ベテランの油断・衰え

経験豊富でも油断や衰え等で事故は発生。若年層のみの問題ではない。



あの場所、フックをかける場所がない区間が少しあるんだよな。まあ、気をつけよう！



「事故のゼロ化」に向けた特効薬はなく、
 1) リスクアセスメント及び対策実施の徹底による上流でのリスク低減
 2) 個々人の知識及び危険感度の向上、の着実な実行が重要。

現場の危険予知からより上流でのリスクアセスメントへ

利用者の知識拡大

AIが法令、マニュアル、事例等の情報を**多面的に提供**。

深い検討

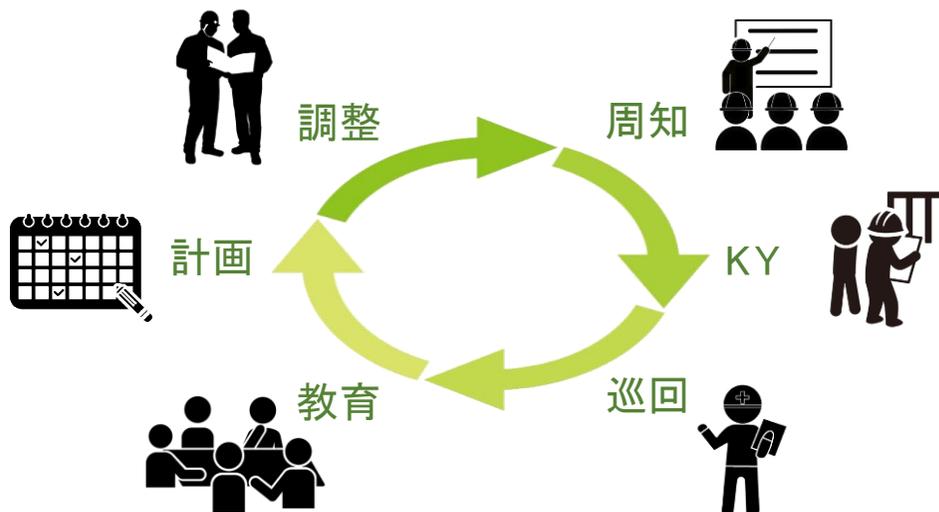
AIが多様な案を**提示**し、検討を支援。

適切な伝達

リスク・対策を理由や関連知識と共に共有し、KY、会議、教育で活用。

徹底したリスクアセスメントで危険の芽を除去

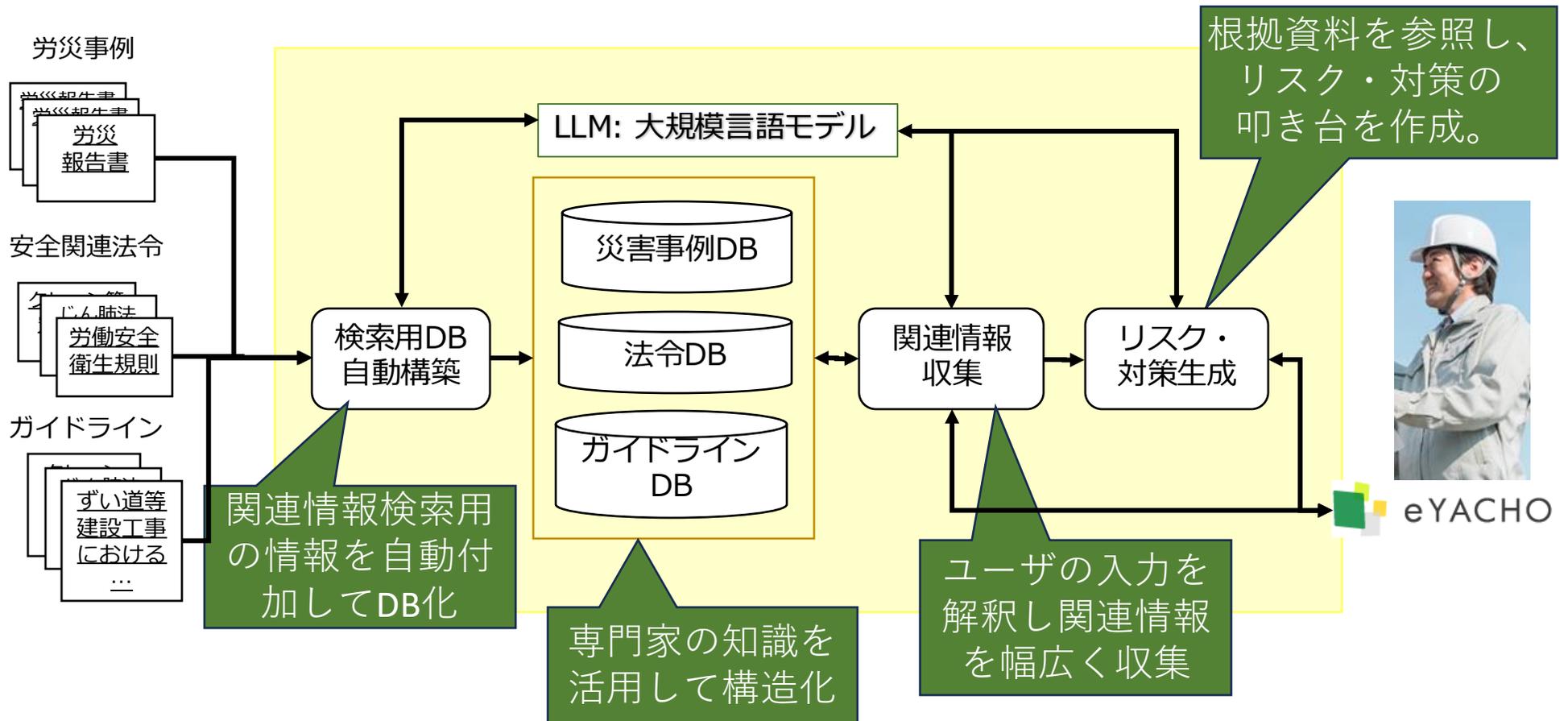
知識・危険感度を底上げ



上流での検討や現場側への周知にご利用いただき、安全衛生管理の強化に貢献

「考える力を支援」する仕組み

横断的な情報や叩き台を提供して、ユーザの知識や理解の向上を促しつつ、現場の特性に合わせたリスク・対策の検討に集中。

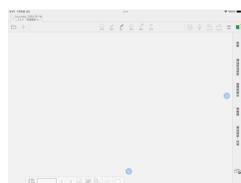


4 ステップで利用

ステップ1から3はAIエージェントによる自動実行も可能。

1. リスク把握 : 作業内容等から関連するリスクを概観し、検討を深めるリスク（労災事例）を選定する。
2. 関連知識収集 : リスクの対策に関連するマニュアルや法令を幅広く収集し、対策検討に利用するマニュアルや法令を選定する。
3. 候補生成 : 1、2の情報からAIがリスクや対策の案を生成。利用者は内容を吟味し案を選定する。
4. 結果作成 : 案をAIと共に編集し、保存し、利用する。

デモンストレーション



おわりに

- 安全対策はより上流で： KYからリスクアセスメントへ。
- MetaMoJiの「考える力を支援」の方向性のもと、よりリスクアセスメントでの利用を意識した次世代安全AIを開発。
- 「考える力を支援」のポイント：
 - 関連情報を横断的に提示することで、ユーザーの知識や理解をより一層広げる。
 - 叩き台としての多様な「AIの案」を提供し、ユーザに現場の特性に基づくりスク、対策の具体的検討に集中してもらう。

今後の展開

2025年9月以降～2026年度前半予定

- BIM / CIMデータ活用
- 工事写真管理機能強化
 - クラウド管理による現場を横断した工事写真管理
- 設計部門向け機能強化
 - 縮尺・定規機能・距離計測機能
- 安全AIソリューションAndroid対応
- MetaMoJi Cloud 「API Service」 (仮)
 - 基幹システムからのAPI呼び出しにより、ユーザー追加の自動化
 - 基幹システムからPDFを送付することにより、シェアノートの自動作成 等

製品構成

		ベーシック版	スタンダード版	プレミアム版
基本機能		○	○	○
GEMBA Talk	同時会話参加者数	3名	30名	100名
	同時映像表示数	1名	5名	10名
	連続通話時間	30分	70分	180分
電子小黑板工事写真撮影		○	○	○
工事写真管理			●	●
外部システム連携	計測機器 (BLuE)		●	●
	デジタルサイネージ		●	●
	工程's		○	○
	外部データ		○	○
	Salesforce			○
安全AIソリューション			○	○

● 動作環境

- iOS / iPadOS : 17.7 以降
- Windows 11 (23H2) 以降
Windows 11 LTSC 2024
- Android 13 以降 ※一部機能制限がございます

2025年9月 リリース予定

MetaMoJi Days 2025

MetaMoJi Days 2025

現場DXの今がわかる。
実践事例が学べる2日間。

7.31 Thu ▶ 8.1 Fri
13:00 ~ 17:00

オープニングセッション

MetaMoJiの今後の戦略&技術ビジョン

【7月31日 14:30開催】

eYACHO Track 特別講演

eYACHOが切り開く現場DX — MetaMoJiと歩んだ大林組の10年

株式会社大林組
理事 本社 DX本部 本部長室長

堀内 英行 氏



eYACHOの発売から10年。大林組はその構想段階から開発に深く関わり、「現場でiPadを有効活用できるツールとは何か？」を徹底的に追求してきました。本講演では、eYACHO発案の背景にある課題意識や、開発パートナーとしての試行錯誤、現場への導入・展開における苦労と工夫を、体験談を交えてご紹介します。さらに、近年の生産DXの進化とともにeYACHOの活用は広がりを見せており、万博関連プロジェクトをはじめ、より高度で複雑な現場への対応も進んでいます。これまでの10年の歩みを振り返りつつ、次の10年へ向けた大林組の取り組みと展望をご紹介します。

eYACHO for Business 7新機能紹介

ついに4年ぶりのメジャーバージョンアップ
残業削減ダケジャナイ 安全管理にも対応した
eYACHO for Business7の新機能ご紹介

実践事例① 株式会社九電工様

九電工流eYACHO展開術
～定着への工夫と実践事例～

実践事例②

株式会社田中組様

使われなかったiPadが現場の主役に
——eYACHO導入で実現した業務効率化

実践事例③

東亜建設工業株式会社様

設計レビューのDX：レビュー指摘整理業務を変えるeYACHO活用の実践

実践事例④

株式会社フレックス様

「eYACHO連携で進化する建設現場のデジタルサイネージ活用術」
～ゼネコン現場での先行導入事例と業務効率化の実感～